

## 4. 流域治水に関する取組事例の共有

# 淀川舟運復活の契機

- 平成7年（1995年）阪神淡路大震災の際、陸上交通網が麻痺する中、舟運が被災した堤防の応急復旧作業に活躍したこともあり、その役割が見直し。
- これまで、淀川沿川に緊急用船着場を9箇所（+1箇所（十三）整備中）整備するとともに、令和元年度には舟運を活用した災害時緊急調査に関する協定を特定非営利活動法人大阪水上安全協会と締結。

陸上交通が遮断（国道2号）



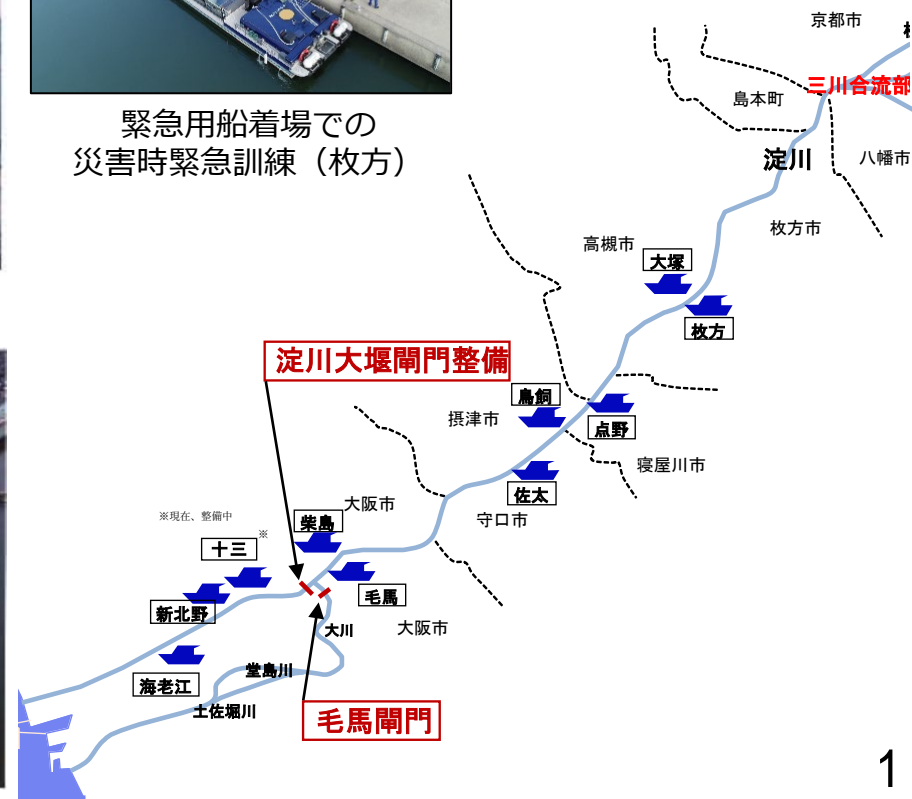
兵庫県南部地震により崩壊した淀川左岸西島地区の特殊堤



船舶を使用した復旧工事の状況

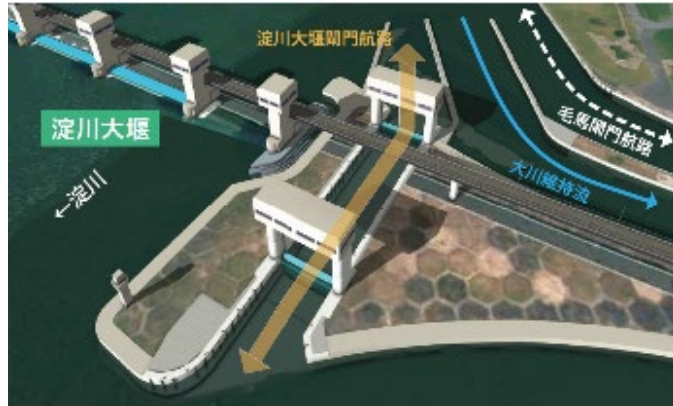
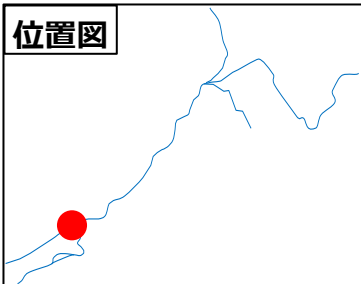


緊急用船着場での災害時緊急訓練（枚方）



# 淀川大堰閘門の整備

- 現在、淀川の上下流の航行を分断している淀川大堰の左岸側に閘門を整備するもの。
- 令和3年度事業化、2025年大阪・関西万博までの完成を目指し最新技術を活用して整備中。
- 淀川舟運の平常時・災害時利用に資する施設として沿川自治体からの期待も大きい。



整備後



淀川大堰閘門施設諸元  
 閘室幅：20m  
 閘室長：70m  
 通行可能船舶：100～500t級台船  
 船舶通過時間：約30分

## 災害時

舟運を利用した復旧活動



阪神淡路大震災における舟運を活用した堤防復旧

阪神淡路大震災の際には、被災した淀川堤防の復旧に舟運が活用されました。災害時には陸上交通が麻痺することが想定されるため、舟運の活躍が期待されます。

## 公共工事

淀川沿川の公共工事への活用

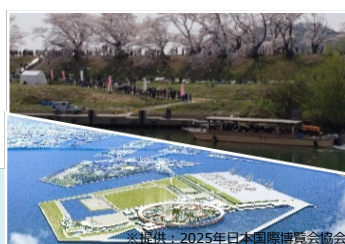


阪神なんば線淀川橋梁架け替え工事における舟運の活用

淀川の舟運はこれまで淀川大堰より下流域の一部の公共工事で活用されてきましたが、淀川大堰閘門の完成により、上流域を含む淀川沿川の様々な公共工事で、大規模な資機材や大量の土砂等の運搬に舟運の活用が期待されます。

## 観光

船で京都へ、万博へ



上流 [背割堤の桜と花見船] と下流 [万博会場・夢洲] の観光資源

淀川大堰閘門が完成することによって、京都から大阪までの航路がつながることになります。2025年大阪・関西万博の会場である夢洲までの航路としての期待も高まります。



沿川自治体からの要望 (R4.8 淀川舟運整備推進協議会)



# かわまちづくり計画に基づく支援

- 十三、枚方、八幡、伏見、宇治の5地区において、自治体・協議会が沿川のにぎわいづくりに資する「かわまちづくり」を推進しており、河川管理者が船着場や親水護岸、トイレ等の整備により支援。





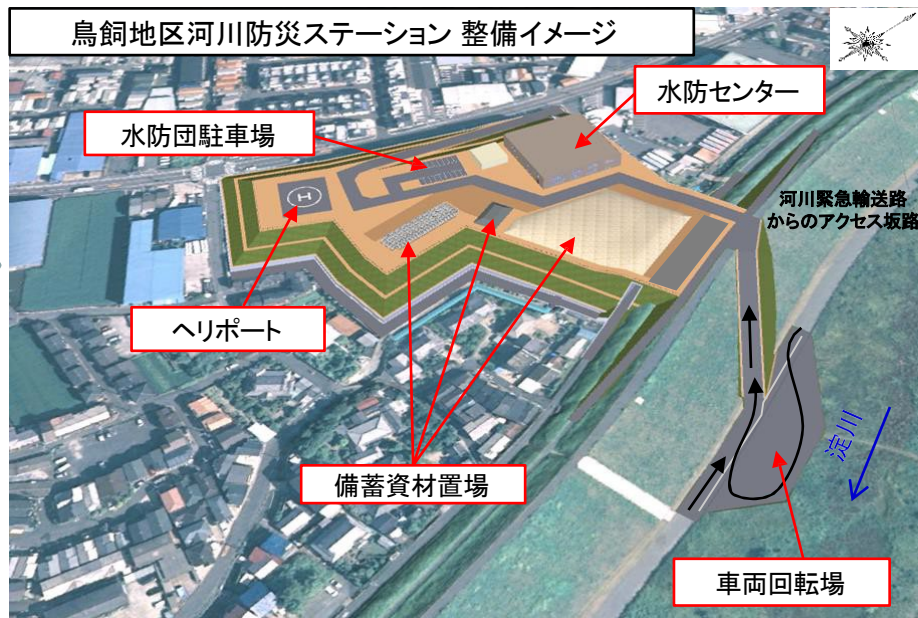
# 鳥飼地区河川防災ステーション

- 摂津市の鳥飼地区河川防災ステーションは、淀川の洪水被害を最小限とするため、災害時の緊急復旧活動を行う上で必要なコンクリートブロックなどの緊急用資材の備蓄、駐車場、ヘリポート等の整備を行うと共に、摂津市が水防センターを設置するなど災害時の活動拠点となる施設です。
- また鳥飼地区河川防災ステーションの整備と併せて、河川防災ステーション上流に位置する鳥飼仁和寺大橋と堤防天端道路をつなぐ取り付け道路を整備し、災害時の円滑な活動を目指します。

鳥飼地区河川防災ステーション 整備前状況



鳥飼地区河川防災ステーション 整備イメージ



周辺道路とのアクセス性向上



鳥飼仁和寺大橋取り付け道路 整備前状況



鳥飼仁和寺大橋取り付け道路 整備イメージ

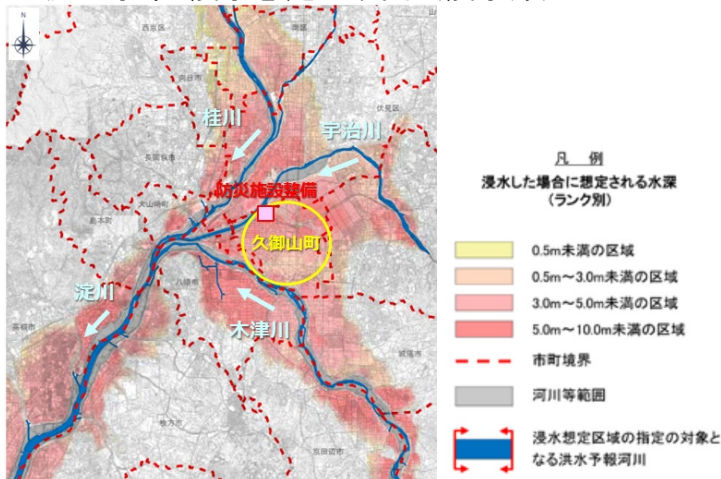




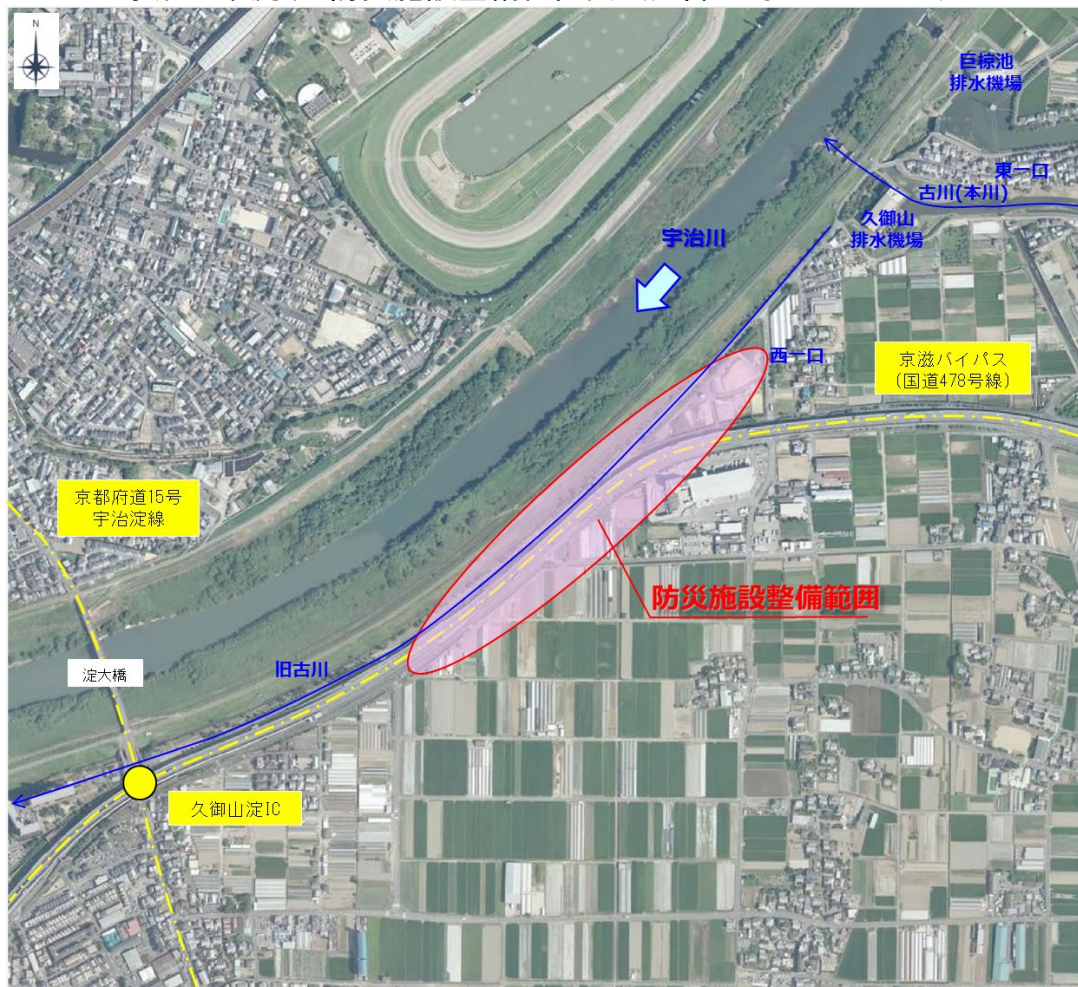
# 宇治川中流域防災施設について

- 久御山町は、桂川・宇治川・木津川の三川合流部付近に位置し、浸水深3.0m以上となる水害リスクの高い地域である。
- これに対して、久御山町は想定される浸水深以上の高台施設が少なく、災害時の機動性（久御山淀ICや京都府道15号への容易かつ安全なアクセス／京都府域の中心に位置）を確保できることから、防災施設整備に適した地域である。
- 宇治川中流域における災害時の緊急復旧活動拠点の確保や緊急用資材の備蓄のため、防災施設整備を図る。

淀川水系 浸水想定区域図（浸水深）



宇治川中流域 防災施設整備位置図（久御山町西一口地区）



## 防災施設（河川防災ステーション）整備イメージ

**【災害時の活用】**

- ①緊急復旧用資材備蓄基地
- ②災害対策車両基地
- ③車輛交換場所
- ④ヘリポート
- ⑤洪水時の現地対策本部
- ⑥水防団の待機場所
- ⑦水防倉庫
- ⑧一般住民の避難場所

**【平常時の活用】**

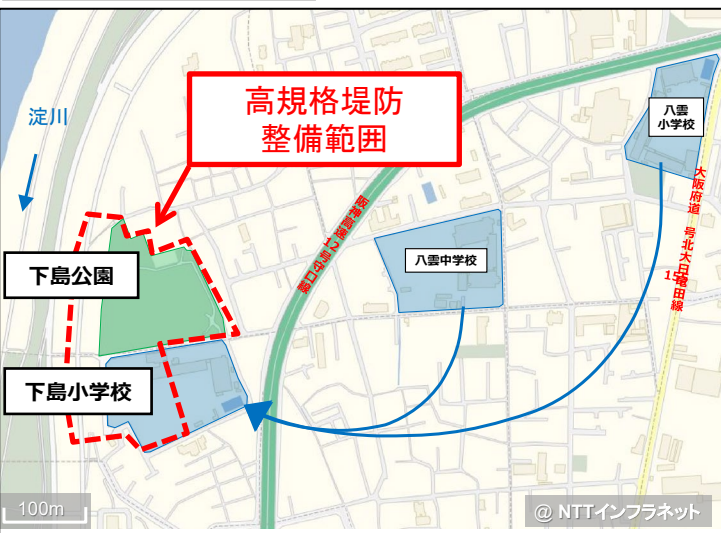
- ①コミュニティースペースとして地域に提供
- ②水防活動の訓練等に利用
- ③防災学習施設や川の情報発信拠点として水防センターを活用



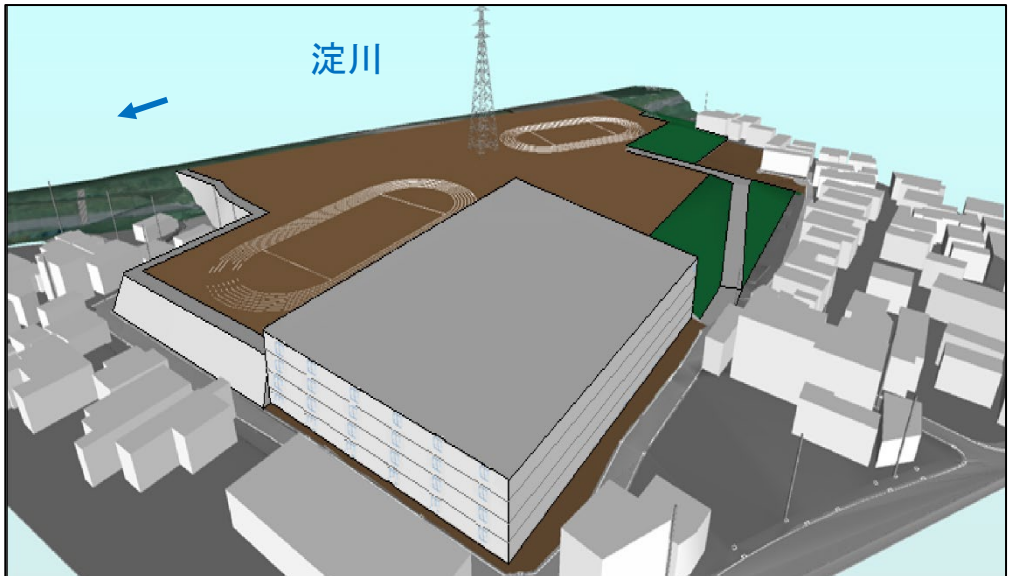
# 高規格堤防整備事業(下島地区)



学校等移転イメージ



完成イメージ





# まるごとまちごとハザードマップ(令和5年度設置)

●住民が集まる集会所、公園や公民館・市役所付近の電柱や壁面に看板を設置



小倉駅周辺の電柱(宇治市)



城陽市役所西庁舎(城陽市)



近鉄富野荘駅 西口(城陽市)



神足地区電柱(長岡京市)



男山中学校(八幡市)



近鉄三山木駅 西側(京田辺市)



佐古公民館(久御山町)

◆令和5年度まるごとまちごとハザードマップの設置状況

市町名		設置箇所
京都府域	宇治市	1
	城陽市	29
	長岡京市	21
	八幡市	3
	京田辺市	4
	久御山町	6
合計		64



●教育施設周辺や駅周辺、交通量の多い国道沿いの電柱へ青色シートをラッピングすることにより設置

## ■木津川市における設置

加茂小学校付近

加茂駅(西側)付近

上狛小学校付近

## ■和束町における設置

木屋立花地区 国道163号沿い



◆令和5年度まるごとまちごとハザードマップ高度化の設置状況

市町名		設置箇所
京都府域	木津川市	10
	和束町	1
合計		11